

ロスタイムに得点を獲り仰向け  
になって喜ぶ巻の元へ向かう選  
手達 (齋藤卓也撮影)

# 駒澤大学 2 X 1 筑波大学

## 「駒大らしさ」

前節の中大戦の敗戦から一週間、西ヶ丘のピッチに焼かれた駒大イレブンの姿に観客は無言した。スタメン11人中7人が先頭になつていたので、ベンチ、スタンドにも先頭の選手の姿が目立つ。四年生を中心に試合を入れると言つて、廣井キヤブテンを筆頭に頭を丸めたそつだ。そんな彼らの想いが変わる試合だった。

試合開始直後から駒大ペースで試合が進む。1-1清水に内定が決まった原にいい形で次々トリプルが送られていく。しかし、タイムアウトで内容は良かったが、フィニッシュが早くなかつた。

と秋田監督が言うように今日の駒大は決定力に欠けていた。それでも18分に巻が得たPKを原が決めた先制。DFの藤井も、じつかりマークが付いていてそこまでうまくインターセプト出来たのでそこは流れて上がった枚数を増やしたりするのでもいいと思つた。試合後半納つていたように、攻撃に参加し前線の選手に刺激を与えたが、キヤブテンが追加点を奪えない。

後半に入り試合はさらに白熱する。筑波大にゴール前を固められペナルティエリア内でプレーをさせて貰えない時間帯が流れ、中間合間に防げるチャンスも、ものにするこ

# 巻の値千金弾で首位返り咲き!

間にも出来ないうちにはDFの一瞬の隙をつかれ同点弾を決められ失点。この日初出場で初先発となったルキ一の市川は後半は押された場面が多く失点してしまつたので、そこを耐えられるようになりたいと力強く今後の抱負を語つていた。このまま試合は終わるかに思えた残り5分。特に最後の5分はみんな1つになつて勝利を目指していた。と三栗の言葉通り駒大は闘志むき出し、貪欲にゴールを目指した。ロスタイム塚本の左CKを巻が頭で決め決勝弾。ずつと白つていった気持ちちがやつと結果に繋がった。ゴールと試合後巻が踊るよ



がった。ゴールと試合後巻が踊るよ  
うに気持ち呼び込んだ。ゴールだった。  
巻自身9月9日の中大戦ぶりの得  
点。原巻の西ヶ丘の得点で劇的勝  
利を収めた。今日は大きい。  
リーグ戦残り5試合、手強い相手は  
かりだが優勝するには負けは許され  
ない。この試合でかきた駒大らしい戦  
う気持ち全開志士で試合に望めば勝  
利を収めることが出来るだろう。ま  
た、10月22日に行われた流通経大と  
明大の試合は引き分けだったため、  
流通経大に勝ち点1差で駒大は再び  
首位に返り咲いた。(巻田 恵美)